

 評価のポイント

CL- I .ニーズを捉える力（精神科）

[13-1] 発達障害の事例

- ① A君の事例を通し、入院する理由としてどのようなことがありましたか。もし、逆に入院しなかった場合どのようなことが考えられますか。

現病歴からアセスメントを行う。まず、A君の入院になったきっかけは何だったのかを確認する。A君の問題が他の家族成員にどのような影響を与えているのか、それぞれの立場になって考えてみる。入院しなかった場合、どのようなことが考えられるかについては、事件・事故・家族崩壊などの危機介入としての視点、成長発達の視点、また将来的な精神疾患への恐れなども含めて考えていく。

- ② A君は薬物療法によって集中できるようになりました。ADHDの患者にとって、薬物療法はどのような効果がありますか。

①周囲の燃え尽きを防止、②余裕をもった援助計画を立てられるようにする、③生活の場の緊張関係を緩和する、④患者がほめられる機会を増やし、自己評価や自尊心の低下を防ぐ、⑤障害によって損なわれている「本来持っている力」を発揮できるようにする、⑥交友などの社会的体験を成功体験として重ねることで、社会性を獲得させる、⑦将来における反社会的行為の発生を予防する、を確認する（資料 p.11）。「薬物療法は他の援助手段が有効に機能するためのベース、症状を抑えることで、生活の質を高める援助ができる」ということを理解できているかを確認する。